

第11回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会
日時 平成30年7月9日
場所 国立がん研究センター新研究棟1階 大会議室

AYA世代のがん患者の妊孕性温存に 関する取り組みについて

滋賀医科大学 産科学婦人科学講座
准教授 木村 文則

滋賀県のがん・生殖医療と 滋賀がん・生殖医療ネットワークの設立

- 2013年1月
がん患者の卵巣組織凍結 保存開始
- 2015年6月
がん妊孕外来開設（がん患者専門の生殖医療外来）
- 2015年7月7日
滋賀がん・生殖医療ネットワークを設立
目的：①滋賀県内のがん患者、医療従事者への啓発
②滋賀県内のがん患者、がん治療者、生殖医療者の
ネットワーク化

滋賀がん・生殖ネットワークとは

滋賀医科大学が事務局となり、

滋賀県のご指導のもと

県内のがん治療施設の
協力診療科（がん治療者、生殖医療者）と共に、

がん・生殖医療に関する情報、滋賀県内の生殖医療施設情報を

がん患者、がん治療者に
広めるためのネットワーク

滋賀県にがん患者さんの生殖医療をサポートする
ネットワークをみんなで作りました



ネットワークの主要メンバー

代表

滋賀医科大学産科学婦人科学講座

村上 節

アドバイザー

滋賀県がん患者団体連絡協議会会長

菊井津多子

滋賀県健康医療福祉部次長

角野文彦

滋賀県健康医療福祉部健康医療課

嶋村清志

市立長浜病院がん相談支援センター長

伏木雅人

滋賀県立成人病センター・婦人科

山内智香子

滋賀県産科婦人科医会会長

高橋健太郎

ネットワークの主要メンバー

幹事	総合外科学講座 腫瘍センター 外科乳腺一般外科 消化器血液内科 産科学婦人科学 小児科学講座 泌尿器科 整形外科 脳神経外科 薬剤部	目片英治 田崎亜希子・木村由梨・尾崎由佳 清水智治・河合由紀・糸井尚子 園田文乃 中川哲也・郭 翔志・竹林明枝 丸尾良浩・佐藤知実 成田 充弘・富田圭司 児玉成人 深見忠輝 金本賢枝・須藤正朝
幹事長	産科学婦人科	木村文則
監事	小児科学講座 消化器・血液内科	多賀 崇 木藤克之

滋賀県内の協力診療科（がん妊孕支援科）

赤色：がん診療連携拠点病院

高島市民病院
産婦人科

滋賀県立成人病センター
婦人科・泌尿器科

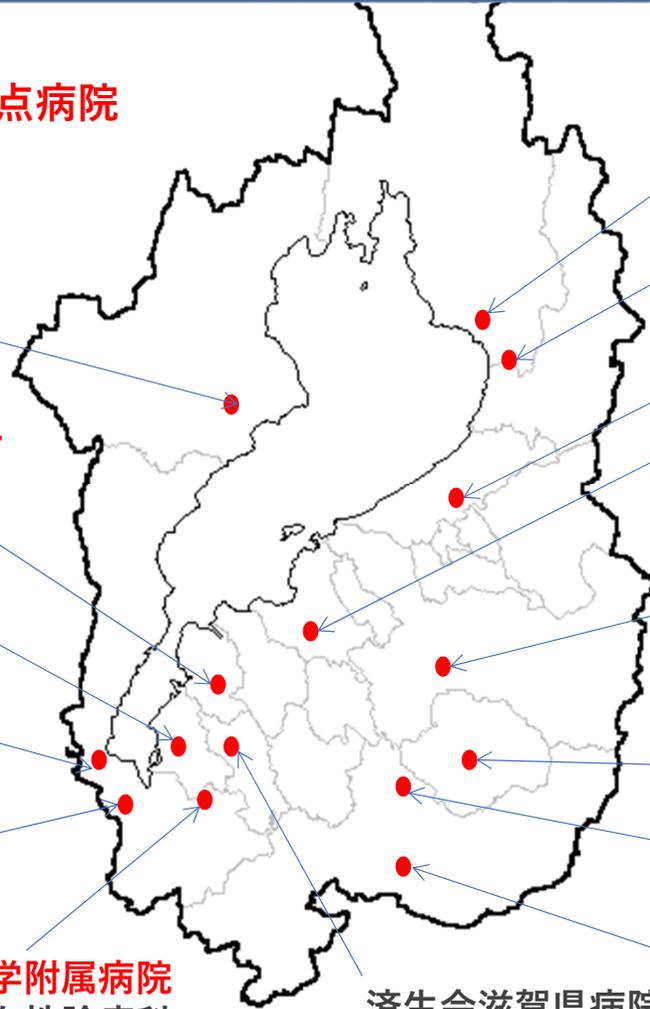
草津総合病院
泌尿器科・産婦人科

大津赤十字病院
泌尿器科・産婦人科

大津市民病院
泌尿器科・産婦人科

滋賀医科大学附属病院
泌尿器科・女性診療科

(2016年4月1日現在)



長浜赤十字病院
産婦人科

市立長浜病院
放射線科・泌尿器科・
産婦人科

彦根市立病院
泌尿器科・産婦人科

近江八幡市立総合医療センター
泌尿器科・産婦人科

東近江医療センター
泌尿器科・産婦人科

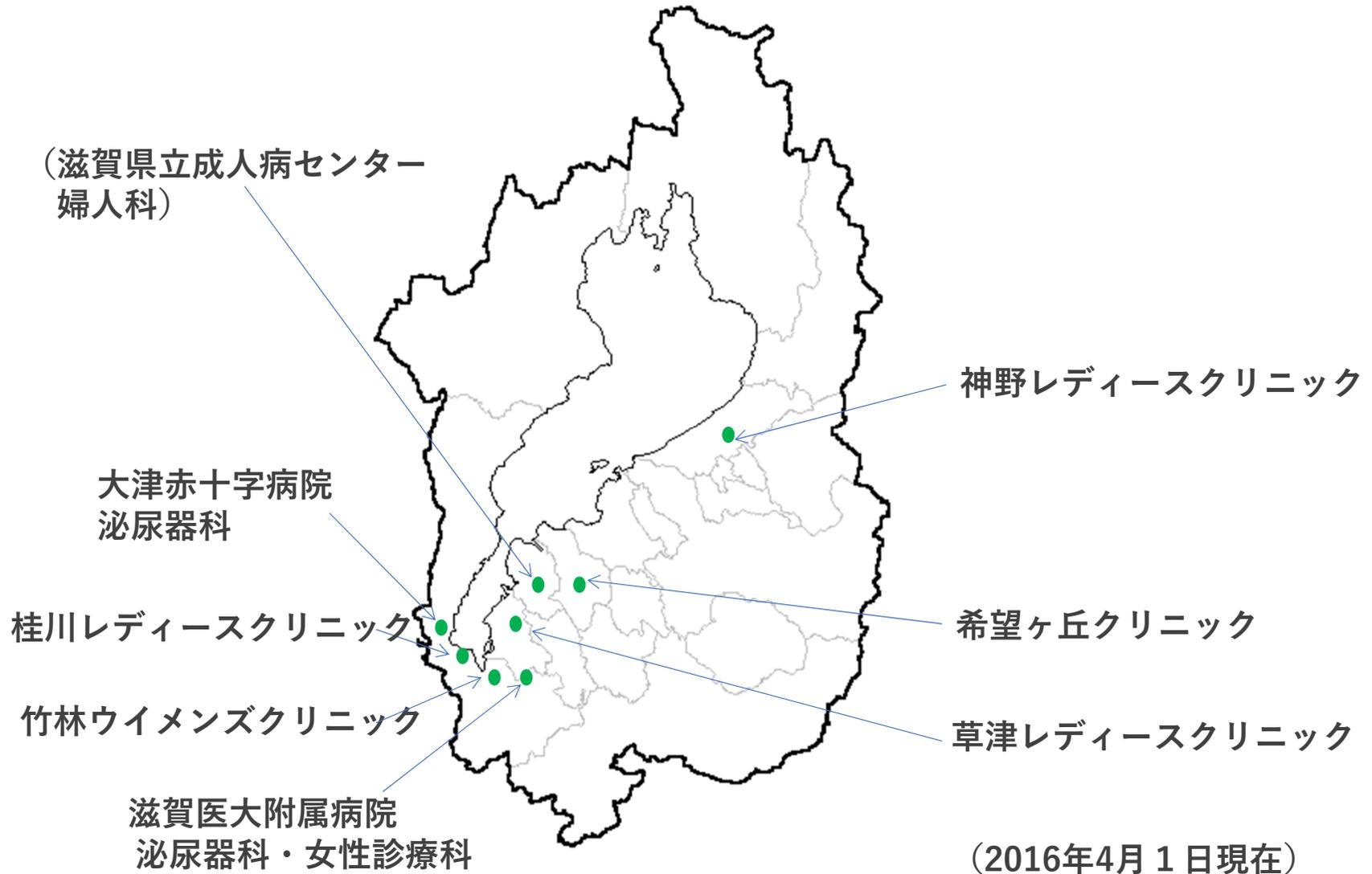
日野記念病院
泌尿器科・乳腺外科

甲賀病院
泌尿器科・産婦人科

甲南病院
放射線科・外科

済生会滋賀県病院
泌尿器科・産婦人科

滋賀県内の協力診療科(妊孕性温存施設)



ネットワーク内での がん生殖医療に関する情報の流れ

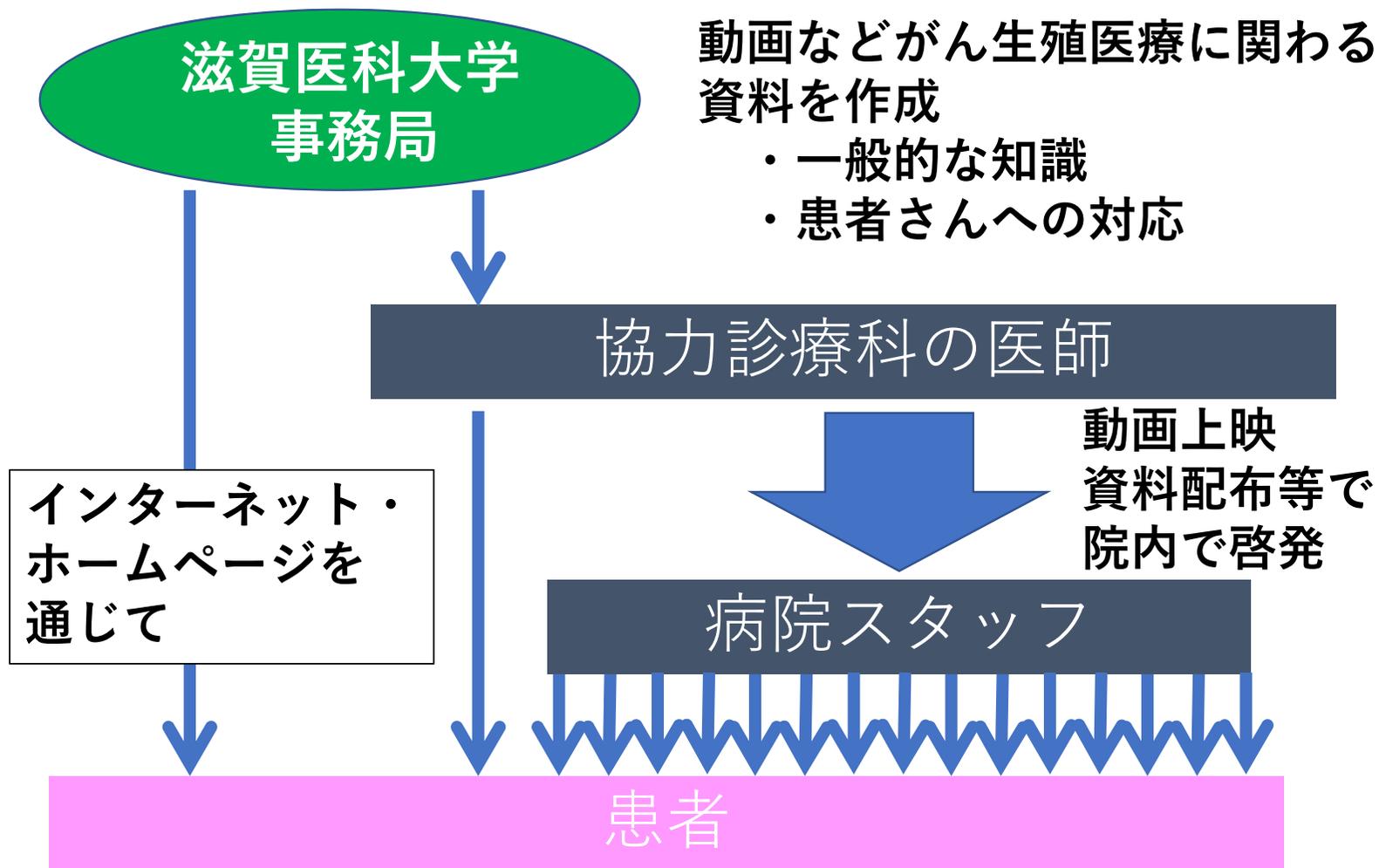


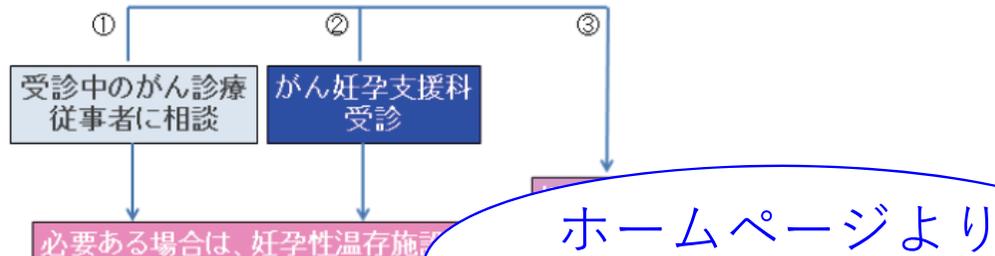
表2. 患者さんが直接ネットワークを利用される場合

Step 1

資料を呼びかけ施設ホームページからダウンロード

Step 2

ご自身で不妊リスク評価



◆共有する資料

- ①説明用動画
- ②問診票
- ③患者用リーフレット
- ④医療者用リスク分類表
- ⑤医療者用妊孕性温存のためのアルゴリズム
- ⑥施設および診療内容一覧

けではありません。患者さんの病状等により妊孕性温存が適さない場合もあることはお含み下さい。

なお、がん・生殖医療および滋賀がん・生殖医療ネットワークのご理解を深めていただくために「OF-NETがん・生殖医療ネットワーク説明用DVD」の音声入り画像をご用意しました。ダウンロードしてご視聴ください。（ご視聴いただいた方は、ofnshiga@belle.shiga-med.ac.jp までご意見をいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます）

患者さん用各資料のダウンロードはこちらからどうぞ

- [がん治療と妊孕性について](#)
- [登録施設一覧表](#)
- [OF-Net がん・生殖医療ネットワーク説明用画像](#)

がん診療従事者がネットワークを利用される場合

2016年度(ネットワーク設立の翌年)に 行った活動

滋賀県の強力なサポートのもと

- 公的助成事業

 - 滋賀県のがん患者の妊孕性温存に対する助成

- がん患者の妊孕性温存普及啓発事業

 - 滋賀県内のがん治療施設での研修会実施

滋賀県 平成28年度がん患者の妊孕性(にんようせい) 温存治療事業

医療連携の基盤

H27年7月

「滋賀がん・生殖医療ネットワーク」発足

連 携

がん患者の妊孕性温存治療事業 H28年度

(1)温存医療の費用助成

若いがん患者の経済的負担を軽減

(2)がん診療従事者の啓発

- ・妊孕性温存の理解を広げる
- ・患者指導を支援する

患者が
・安心・納得のがん治療
・将来、家族をもつ希望を両立



滋賀方式 妊孕性温存に対する助成

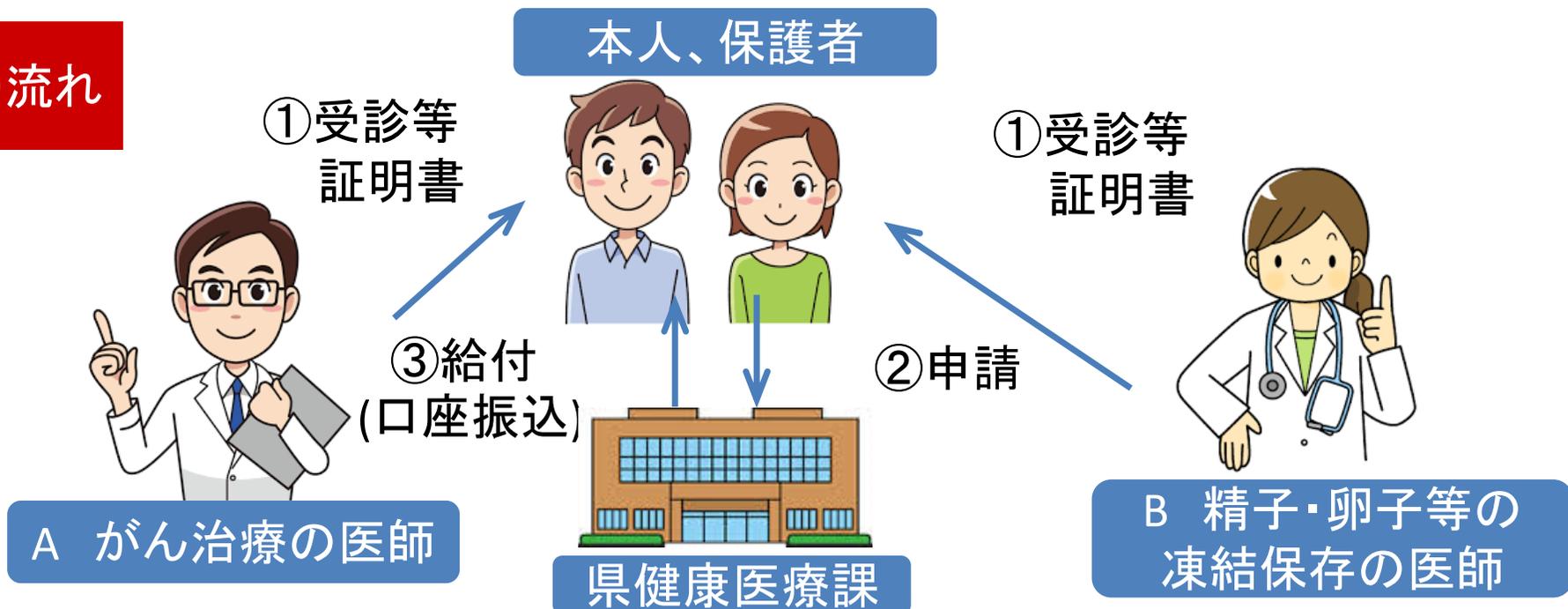
1 助成内容

精子、卵子、受精卵、卵巣組織等の採取、凍結保存等にかかる
保険適用外経費(生涯で1回) 上限:男性2万円、女性10万円

2 対象者

がん治療により子どもができなくなるおそれがあり、
助成内容の処置の時点で滋賀県内にお住まいの43歳未満の人

3 手続の流れ



4 申請先

滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課がん・疾病対策係へ郵送

滋賀県の妊孕性温存に対する助成

➤ 2016年度 9件

男性	2	件
女性	7	件

➤ 2017年度 7件

男性	2	件
女性	5	件

がん診療従事者の啓発

2) がん患者の妊孕性温存のための普及啓発事業【滋賀医大産科婦人科学講座委託】

(1) がん治療医療機関従事者向け

- | | |
|-------|---|
| ①個別対応 | <u>がん治療医療機関からの相談に対応（案件ごと随時）</u> |
| 対象者 | がん治療機能を有する医療機関の従事者 |
| 実施時期 | 通年 |
| 相談窓口 | 滋賀医大産科婦人科学講座 |
| ②研修会 | <u>がん治療医療機関ごとに実施（原則、必ず1回以上）</u> |
| 対象者 | <u>がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、地域がん臨床病院計13か所、その他の医療機関従事者</u> |
| 内容 | <u>がん患者妊孕性温存処置の解説（同助成事業含む）</u>
<u>県内の妊孕性温存療法施行施設の情報提供</u> |
| 実施方法 | 滋賀医大ががん治療医療機関の院内研修会等へ講師を派遣 |
| 役割分担 | <u>がん治療医療機関：研修会の場の設定、参加者確保</u>
滋賀医大：講師派遣、資料作成・印刷（細部は双方で調整） |
| 実施時期 | 平成28年4月～9月にがん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、地域がん診療病院計13か所にて各1回実施 |

個別相談(電話相談)

➤ 2015年度 3件

済生会滋賀県病院

血液内科

精子凍結

甲賀病院

乳腺外科

卵子凍結

近江八幡市立総合医療センター

産婦人科

相談

➤ 2016年度 7件

滋賀県立総合病院

乳腺外科

卵子凍結

滋賀県立総合病院

血液内科

相談

滋賀県立総合病院

乳腺外科

卵子凍結

草津総合病院

外科

相談

草津総合病院

泌尿器科

精子凍結

市立長浜病院

外科

相談

大津赤十字病院

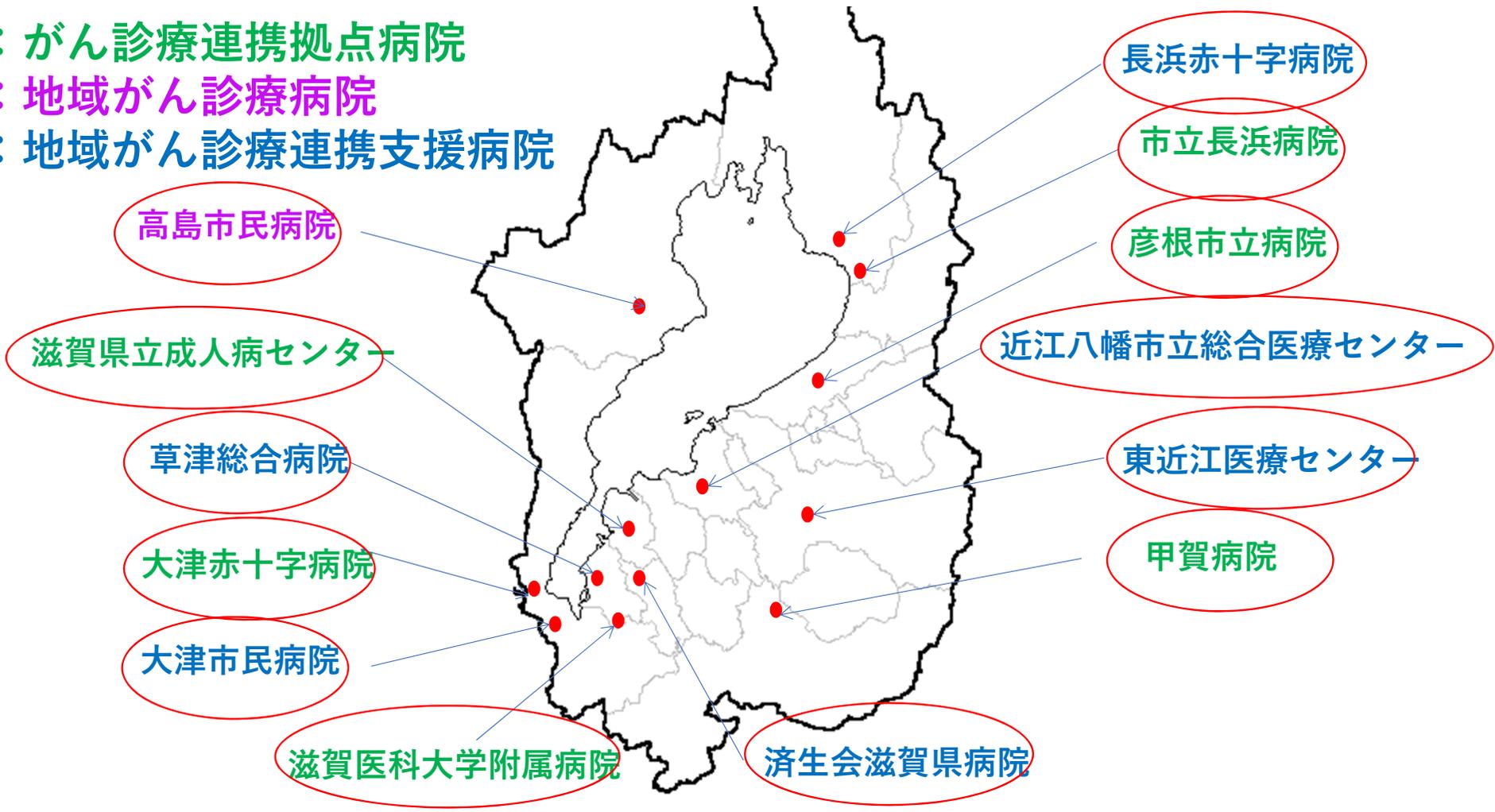
小児科

相談

研修会を実施した施設

同一スライド・資料を用い同じ内容の研修会

- 緑色：がん診療連携拠点病院
- 紫色：地域がん診療病院
- 青色：地域がん診療連携支援病院



研修会 がん治療医療機関ごとに実施

4月21日－12月7日

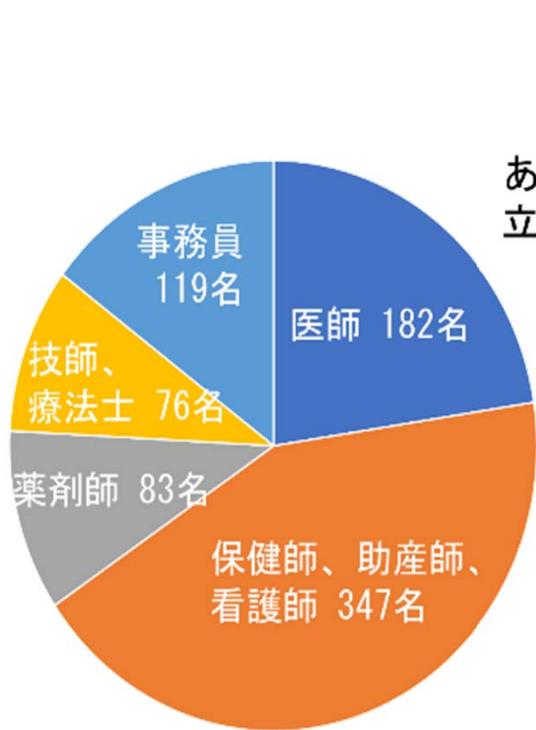
13施設 14回

938名

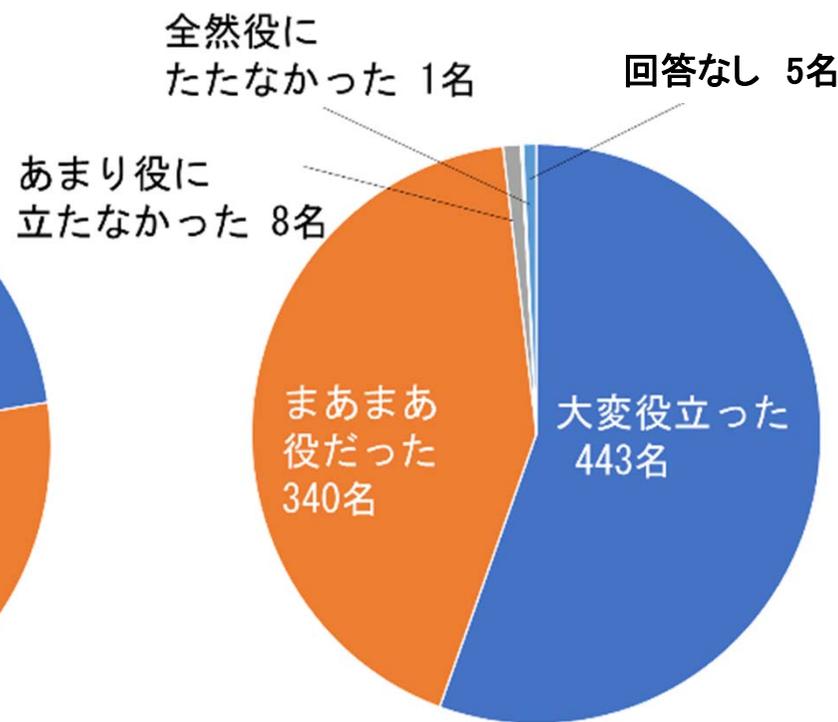
施設名	日時	参加者
滋賀県立成人病センター	4月21日	44
長浜赤十字病院	5月16日	86
滋賀医科大学医学部附属病院	6月1日	136
彦根市立病院	6月9日	60
大津赤十字病院	6月15日	96
長浜市民病院	7月7日	62
甲賀病院 1回目	7月13日	22
近江八幡総合医療センター	7月19日	44
大津市民病院	8月10日	94
東近江総合医療センター	8月12日	67
高島市民病院	9月7日	67
済生会滋賀県病院	9月9日	62
草津総合病院	10月19日	44
甲賀病院 2回目	12月7日	54
合計		938

滋賀県事業アンケート調査の結果

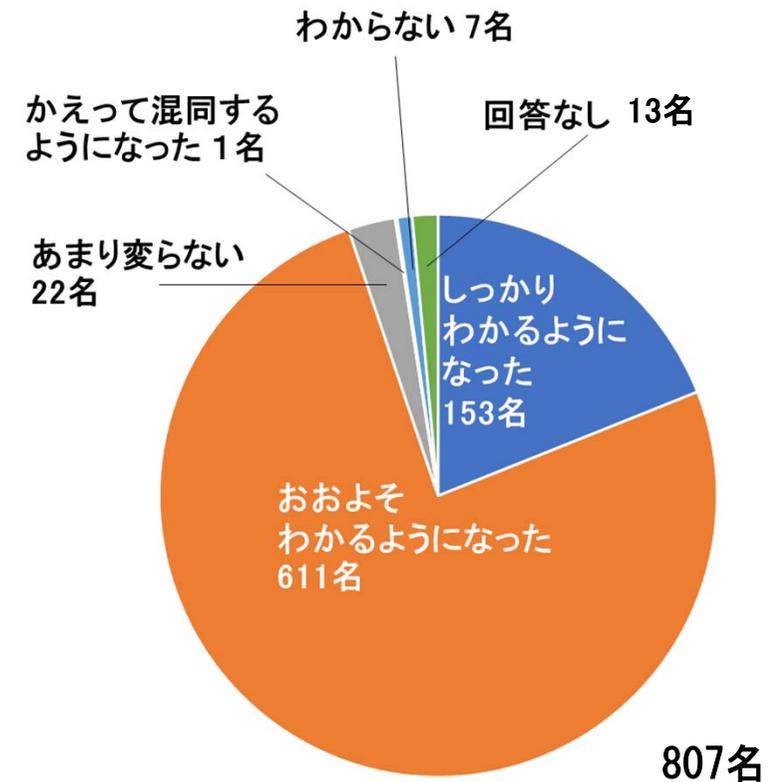
アンケート参加者数



研修会の有用性・満足度



がん患者への対応方法の理解



がん患者へ情報提供を行うための流れを単純化する必要がある

次なる発展のために

滋賀県がん診療連携協議会
2017年3月23日

「がん患者の未来の家族計画応援事業」案がん診療連携協議会
がん患者への妊孕性温存に関する情報提供について

滋賀医科大学産科学婦人科学講座 准教授
滋賀がん生殖医療ネットワーク 幹事長

木村文則

次なる発展のために

がん生殖医療に関しわかり易い資料を作成し、
滋賀県内のすべてののがん治療施設で患者さんに配布すると
決めて実行するなどの
単純で確実な情報提供システムをつくる必要性

当初、滋賀県がん診療連携拠点病院連絡協議会の
ひとつの部会が担当する方向
⇒ ⇒ ⇒ 困難

次なる発展のために

日時 2017年11月28日 19時00分より

場所 滋賀医科大学附属病院

がん患者の妊孕性温存の情報提供にかかわる検討会

参加者

滋賀県がん患者団体連絡協議会

滋賀県

相談支援部会

診療支援部会

滋賀がん・生殖医療ネットワーク

菊井津多子

野坂明子

山内智香子、木村由梨

谷 眞至、目片 英治

村上 節、清水智治、河合由紀、

田崎亜希子、木村文則

議事内容

1. 患者情報提供のシステムの構想
2. ワーキンググループの設置について
相談支援部会・診療支援部会の関わり

平成30年度の事業についての方向性決定

- がん患者への妊孕性温存に関する情報提供に関し
 - ①滋賀県、
 - ②滋賀県がん診療連携協議会 相談支援部会、
 - ③滋賀県がん診療連携協議会 診療支援部会、
 - ④滋賀がん・生殖医療ネットワーク で
ワーキンググループを作成し
患者用資料の作成とシステム運営を担う
- がん治療13施設で啓発活動
研修会を開く

次なる発展のために

日時 2018年3月27日 19時00分より

場所 滋賀医科大学附属病院

がん患者の妊孕性温存の情報提供にかかるワーキンググループ 会議

参加者

滋賀県

相談支援部会

診療支援部会

滋賀がん・生殖

医療ネットワーク

野坂明子

山内智香子、山本茂子、山岸美紀、岡村 理、木村由梨

谷 眞至、目片 英治、中島 正敬

村上 節、清水智治、河合由紀、田崎亜希子、木村文則

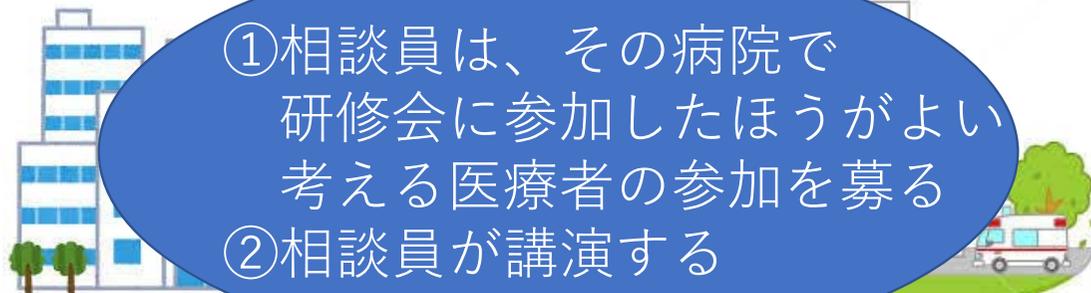
議事内容

1. 啓発活動の資料作成について
2. 研修会の方法について

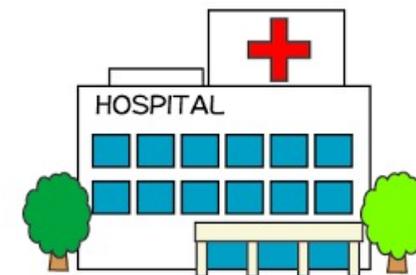
平成30年度の事業についての決定事項

- ▶ 啓発活動 がん治療13施設で啓発
 - ①講師は、2人
 - ②共通の資料とスライドを用いる

病院A



病院C



講師1 病院Aの相談員

病院Bの相談員

相談支援部会から派遣
の相談員

講師2 滋賀がん生殖医療
ネットワーク幹事あ

滋賀がん生殖医療
ネットワーク幹事い

滋賀がん生殖医療
ネットワーク幹事う

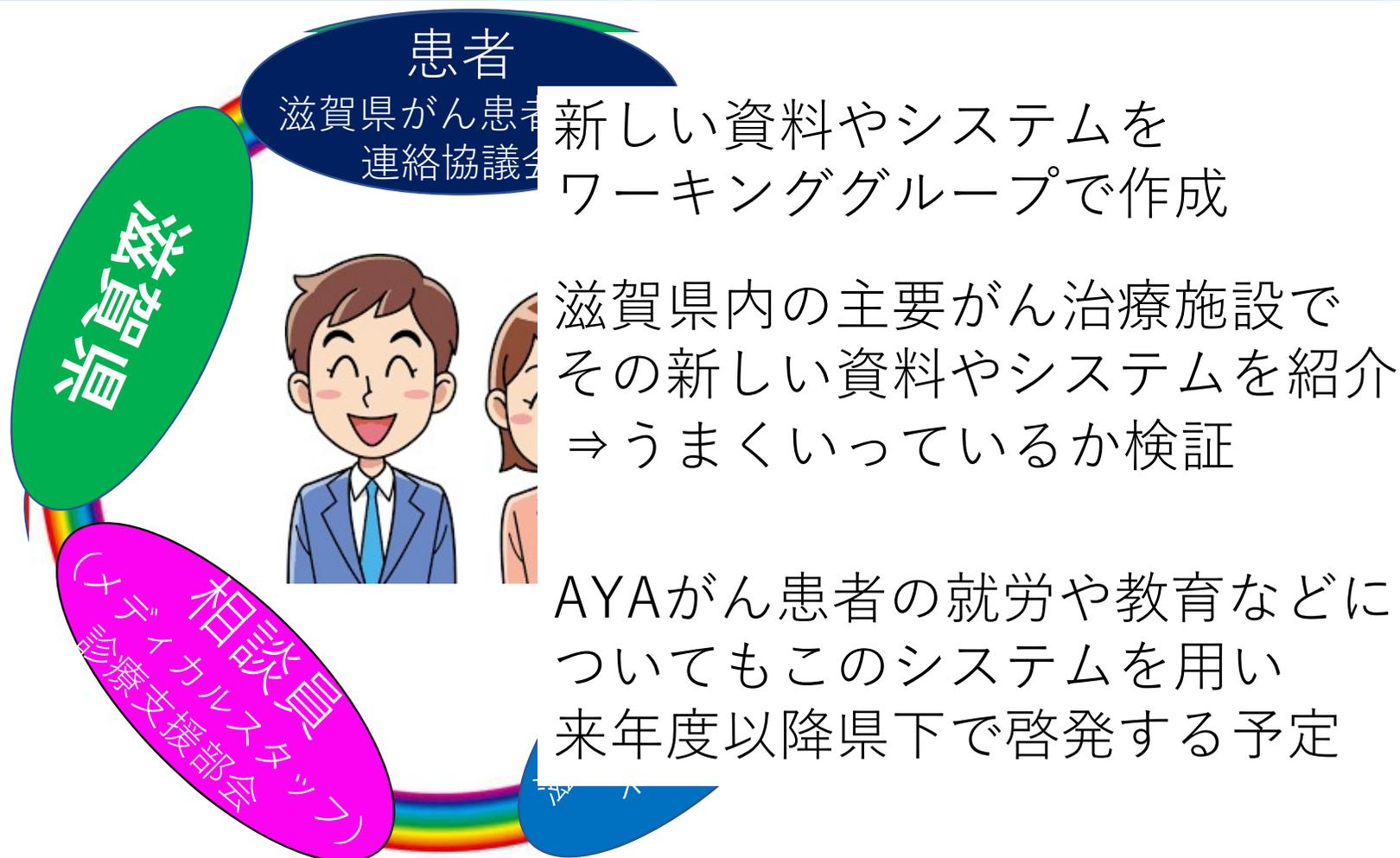
平成30年度の事業についての決定事項

- 7月末より8月に再度 ワーキンググループ会議
最終確認 資料について、だれがいつ手渡すかについて 等
- 9月－12月に研修会（滋賀県による意向調査 実施済）

平成30年度「がん患者の妊孕性温存のための相談支援普及啓発事業」 がん治療医療機関向け研修会にかかる意向調査

医療圏	No	医療機関名	1. 研修会の実施について			2. 研修会の内容等の希望			3. 研修会の窓口担当者	
			ア、あり (希望回数)	イ、なし	ウ、未定	時 期	実施場所等	研 修 内 容	①病院名 ②部署名 ③担当者名	④電話番号(直通・内線) ⑤FAX番号(直通) ⑥メールアドレス(直通)
湖南	1	滋賀県立総合病院	1回			H30年9～11月のいずれかの(木)18:00～19:30	がん診療セミナー	妊孕性温存の情報提供について		
	2	草津総合病院	1回			H30年9月中旬～12月半ばでの平日 17:45～	当院 9F あおばなホール (120席)	妊孕性温存の情報提供について		
	3	済生会滋賀県病院	1回			H30年11月2日(金)17:00～18:00 H30年11月9日(金)17:00～18:00	がんセンター研修会 済生会滋賀県病院 5Fなでしこホール	妊孕性温存の情報提供について		
		滋賀医科大学					院内のがん診療	妊孕性温存の		

滋賀県のがん患者さんへさまざまな情報を提供できるよう ネットワークシステムをパワーアップしました



ご清聴
ありがとうございました

